



中国哈爾濱市における水辺環境を活かした複合医療施設の設計

本計画は、「医療」・「療養」・「研究開発」の複合医療施設の計画案である。中国医療の強みである漢方薬を中心とした施設展開を行い、西洋医学と東洋医学を組み合わせた治療や、未病からの病気の発見や予防、治療、健康の増進など総合的な医療の提供を可能とする。本施設は、活発化する世界の医療観光において、より多くの医療ツーリストの誘致を図り、今後の中国や世界の医療産業を牽引する。

中国医療の現状

健康被害の増加



近年、中国は世界第2位の経済大国へ急成長を遂げた。一方、激しい経済成長は、大気汚染や水質汚染、砂漠化や酸性雨などの深刻な環境破壊を引き起こした。こうした環境破壊により、中国全土で市民への健康被害が及んでいる。

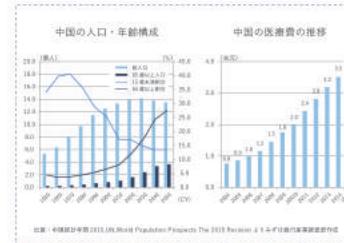
病院の不足問題

中国医療の現状は、医療費の高騰や依然として低い医療保険制度の加入率、診察待ち時間の長時間化や、病院・医師・医療スタッフ不足などの問題に直面している。今後、中国医療の発展には、直面する課題の早期解決が求められる。



医療需要の拡大

中国における医療費は、医療制度改革により2014年時点まで、3.5兆元にまで增加了。今後、生活水準の向上や高齢者の増加により、医療需要のさらなる拡大が予想される。



医療観光客の增加

中国では、2009年に健康大国「2030計画」が策定され、医療観光に力を入れている。しかし、国民の多くは中国医療に信頼感があるため、安心・安全を求めて、海外で先進医療や健康診断を目的で渡航する中国人医療ツーリストが世界的に増加している。



漢方薬研究の進展

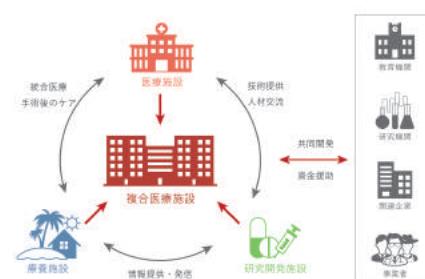
現在、中国では漢方薬の研究開発がバイオ科学技術の急速な発展により進展している。漢方薬は長年にわたり、中国の医薬産業を牽引してきた。中国は、漢方薬に関する研究開発は世界トップレベルであり、今後、漢方薬を応用したバイオ医薬品の研究開発の加速が想定される。



基本方針

「医療・療養・研究開発施設」の複合化

各施設の役割



基本計画

中国黒竜江省哈爾濱市「阿城区」

敷地選定条件

- 医療水準が高く、大学病院・医療関連施設等が充実する場所
- 大気環境基準が良好な場所
- 人々が快適に滞在ができる、自然環境が良好な場所
- 医療ツーリストの受け入れ環境が充実し、アクセス性が良好な場所
- バイオ産業関連企業や研究所を受け入れている場所
- 漢方薬の栽培などに適している環境のある場所



国内外から年間100万人を超える観光客が訪れる観光地である。夏は涼しく、湿地草原が広がる避暑地として知られる。冬は平均気温が-20度に達するが、美しい冬場でも世界的に有名な氷祭りが開催され、多くの人々が訪れる。



計画敷地



全体計画

中国伝統の「中庭」空間を中心とした全体計画

中国における伝統建築では、建物の中心部に「中庭」が配置されている。人々はその中庭空間で、外部と切り離され、ゆったりと落ち着いた時を過ごしている。そこで、本計画では、中国伝統の「中庭」空間を建物中心部に取り入れて全体計画を行うことで、本施設に訪れる幅広い利用者の「快適性」を高めることを目指した。



平面計画

配置計画

敷地周辺環境から配置計画を行なう。

医療施設：住宅街とのアクセシビリティを高めるために、西面に配置。

研究開発施設：湿度の変化が少なく農耕地が広がる北側に配置。

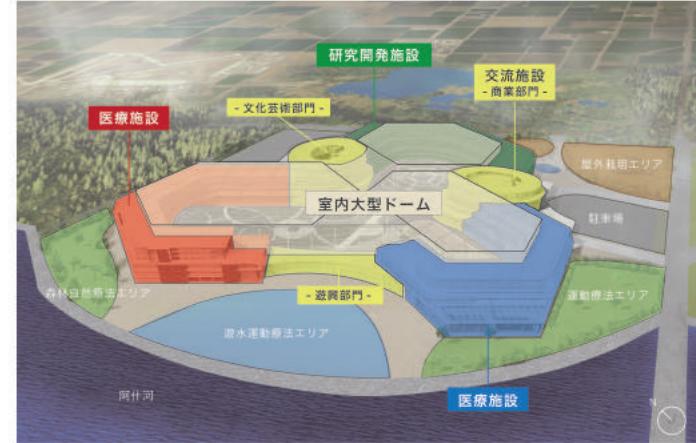
療養施設：日射や水辺の位置を考慮し、南面に配置。

交流施設：各施設を結ぶように配置し建物全体を一体化する。

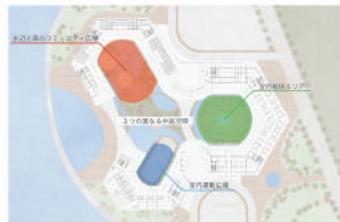


全体構成

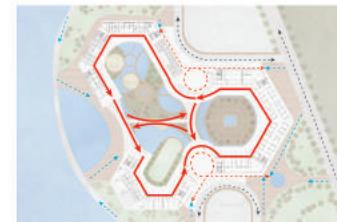
中心部の大型室内ドームによって各施設をシームレスにつなぎ、建物全体を一体化した全体構成。



「中庭」の構成



動線計画



環境計画



各施設と連動するように3つの中庭空間が構成されている。医療施設には、水辺と緑の自然が広がる公園のような中庭空間。研究開発施設には池や木造の蔵などができる中庭空間。療養施設には運動が可能な中庭空間が構成されている。

冬場を取り囲むように建物全体を回廊でつなぎ、効率化迅速化を図っている。その周囲動線の内側部は、緑や水辺の自然環境が広がり。外周部には各施設専門を配置し、人々の快適性を高めている。

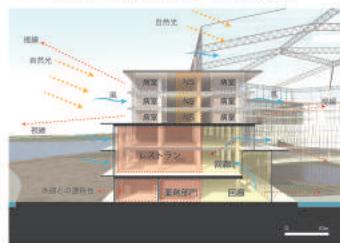
冬の平均気温がマイナス20度になることを考慮し、冬場でも人々が快適に活動できるように、3つの大型室内ドームで中庭空間を覆っている。透明膜により自然光を取り入れることで、訪れた人々が、常に自然を感じられることができる。

1F 平面図 S=1/1600

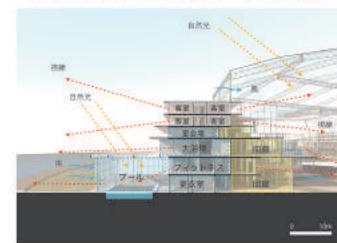


断面計画

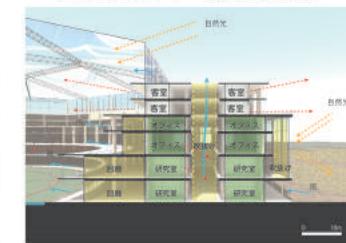
- 地域に馴染む煉瓦の「医療施設」 -



- 健康増進を高める木質の「療養施設」 -



- 交流を誘発する「研究開発施設」 -



各施設に共通して、高層部に客室が設けられている。客室からは、外部空間と中庭空間の自然を連続的に感じられるよう、建築的な構成を図っている。

施設中央部の吹き抜け空間は、人々の複数的な繋がりを诱发し、研究室やオフィスから水盤や緑が直接的に可視できるため、利用者の快適性を高めると共に、知的生産性を高める。

- 施設間を結ぶ「交流施設」 -



各施設を結ぶように交流施設が配置されている。医療と研究開発施設の間に文化芸術空間を導入することで、世者の待ち時間のストレス解消や、研究者の交流の場となるようにした。また、研究開発と療養施設の間に商業・多目的な空間を導入することで、研究者や患者の接点となる場とした。

A-A' 短手断面図 S=1/1000



「中庭」を中心とした全体構成。訪れる人々を魅了し、様々な活動が行われる場であり、人々の接点の場となる。



水辺沿いのプロムナードから訪れる人々。周辺環境と連続し、自然環境と調和したアプローチ。



医療施設

始創演特有のレンガ素材で構成された温かみのある医療施設、中庭からの光や木々は患者の快適性を高める。



療養施設

療養施設は治療後のケアや漢方療法などを行える他、スポーツなどの体を動かすことで健康増進を図る。



研究開発施設

植物や水盤は研究者のリラックス効果を高め、交流スペース設けることで人々のコミュニケーションを誘発する。



屋内栽培エリア

研究開発で使用される漢方薬を栽培し、時には観光客の農業体験などの場ともなる。



交流施設 - 遊興空間 -

遊興空間では、麻雀や卓将棋などが行え、患者同士の交流を誘発し、患者の退屈さなどを解消する。



交流施設 - 商業空間 -

人々で賑わいが溢れる商業空間は、円形状の機能配置により、人々の回遊性を高めている。